40









Construction Worker (TOBI)
とび

安全に、正確に、迅速に建築現場で働くキーパーソン

とび職とは、もともと日本の建設工事において、建物の基礎から組立て、解体までの全ての作業を専門的に行う職人のこと。建築の現場では、花形職種の一つです。現在の仕事は従来よりもはるかに多様化していて、作業の種類や規模、進め方、使用機材も様々になっています。競技では、柱の配置を決め、床けた、床はりに足場板を敷き、昇降階段を取付け、高床及びとびつきを使って小屋組、トラス組、母屋組を組立てるとともに、その後の目測、解体、重量物運搬まで行います。いかに安全に、正確に、迅速に行うかが重視されます。実際の現場ではチームを組んで行う作業が多いため、仲間同士のチームワークも大切です。



＜2025年大会 競技風景＞

競技職種と生活との関わり

建設現場での高所作業を専門とする職人で、東京スカイツリー（高さ634m）などの高層建築物に多く携わっています。とび職種の仕事には、足場を組む「足場とび」、クレーンを使いビルの基礎となる鉄骨を組立てる「鉄骨とび」、主に高速道路や橋をかける「橋梁とび」、重量物の搬入や設置を行う「重量とび」など専門分野に分かれています。どの職種よりも先に建設現場に入って足場を組み、その隙間にシートやネットを張り、万が一の落下事故に備えます。

柱の位置決めが最初のポイント！
高所作業は特に慎重に

作業において大切なことは、何と言っても「安全に、正確に、迅速に組立てること」に尽きます。そのためには、まず基準柱の位置を正確に割り出し、それを基準にそのほかの柱の位置をしっかりと決めることが重要です。図面に示された部材を、順序良く、正確に組立てていきます。中でも、高所での作業では、法令を守り、安全を確保することが求められます。さまざまな状況に対応し、責任を持って施工をする「とび」は、建設現場の安全を支える重要な役割を担っています。

松浦 秀次 主査　松浦組株式会社



前回大会金メダリストからメッセージ！

［所属：向井建設株式会社］

齋藤 彪翔 さん

練習を
毎日すれば、
必ず成果は出ると
思うので頑張って
ください！



前回大会
金メダリスト
インタビュー！